飛騨市中学校の部活動に関するアンケートについて（概要）

《調査概要》

- **調査目的：**
  飛騨市における中学校部活動の地域移行を進めるにあたって、第一に当事者である子どもたちの意見や考えを丁寧に拾いあげ、地域クラブ活動移行の推進や支援の充実を図ること
- **実施時期：**令和６年７月中旬～10 月中旬
- **調査対象：**児　童（小学５年生・小学６年生　計 308 名）
  生　徒（中学１年生～中学３年生　計 507 名）
  保護者（小学５年生～中学３年生　計 781 名）
- **調査方法：**Google フォームを用いたウェブ調査

《結果概要》回答数（回答率）：児童 260 名（84.4%）、生徒 443 名（87.4%）、保護者 414 名（53.0%）

◆　地域移行後の地域クラブへの参加意思と他校生徒との共同活動について（児童・生徒）

図1. 地域移行後の地域クラブへの参加意思について

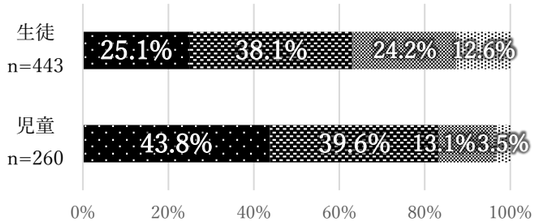
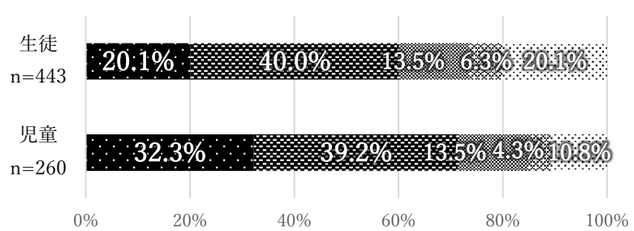


図2. 地域移行後の他校生徒との共同活動について



・・・地域移行後の地域クラブ活動（他校生徒との交流）に対して、児童生徒ともに肯定的な意見が見受けられた。

◆　地域クラブでやってみたい活動種目について（児童・生徒）

表1. 地域クラブでやってみたい活動種目について（上位10：児童・生徒別）

順位	児童n=217（選択者数）	生徒n=280（選択者数）
1	トランポリン（61名）	バドミントン（53名）
2	バドミントン（56名）	バレーボール（47名）
3	ドッヂボール（53名）	テニス（45名）
4	調理（51名）	バスケットボール（44名）
5	ボウリング（47名）	サッカー（39名）
6	バスケットボール（44名）	卓球（38名）
7	テニス（44名）	吹奏楽（37名）
8	美術（43名）	調理（36名）
9	バレーボール（39名）	弓道（30名）
10	パソコン（37名）	トランポリン（30名）

※複数選択可

《児童と生徒で共通する種目》

- バドミントン
- 調理
- トランポリン
- バスケットボール ✓
- テニス ✓
- バレーボール

※チェックマークがある種目は既に『地域クラブ』で活動中

地域クラブでやってみたい活動種目（上位 10）には、現在の中学校の部活動にない種目[バドミントン、調理など]や普段の生活（体育の授業や友人との集団遊び）で慣れ親しんだ種目[バスケットボール、テニスなど]が児童と生徒で共通する種目として挙げられた。

・・・活動種目として、生徒の多様なニーズに対応できる環境づくり（現存の地域クラブに関しての周知・広報活動、新たな活動種目の立ち上げ支援など）を行っていくことが重要である。

◆　地域クラブ活動への移行についての意見や質問（児童・生徒）

表2. 地域クラブ活動への移行についての意見や質問（児童・生徒）

地域クラブ活動への移行についての意見や質問	解決すべき課題
「指導者さんは優しいですか？」「上手くできなくても大丈夫ですか」「パワハラ、モラハラがないといい」「活動を教える先生がちゃんとした人か確かめる」など	指導者の倫理観への理解と遵守（グッドコーチの育成）
「部活で嫌な人がいたら辞められるのか」「辞めるときはどうしたらいいですか？」など	入退会手続きの確立

・・・子どもが安心して地域クラブに参加できるように、地域クラブ活動ガイドラインや各団体における運営規約の中で上記のような子ども目線の意見や考えを丁寧に扱い、安全なクラブ活動体制の構築に取り組んでいく。

◆　部活動・地域クラブ活動に関わる保護者が抱く負担感について

図3. 部活動・地域クラブ活動に関わる負担の有無

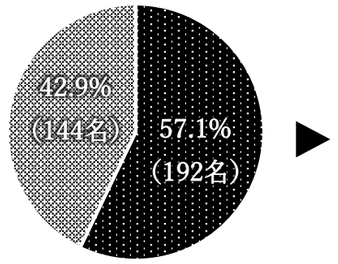


表3.　負担を感じている内容について

選択肢	人数（名）	割合
練習や試合への送迎	157	81.8%
活動費用の金銭的負担	70	36.5%
教員や指導者、保護者同士の人間関係	50	26.0%
教員や指導者との情報共有	44	22.9%
休日の活動の弁当の用意	41	21.4%
その他	34	17.7%

n=192

このほか【意見や要望など】においても、送迎に対する不安や心配の声が多く挙げられた（特に、神岡の保護者から）。

・・・部活動の地域移行を行う中で『生徒の移動手段の確保』は最も大きな課題の一つ。公共交通機関の活用も含めた移動手段への支援（運行時間に合わせた活動時間の調整、公共交通機関の減免など）を進めていく必要がある。

◆　地域クラブ活動に期待することについて（回答者別）

表4. 地域クラブに期待することについて（上位3：回答者別）

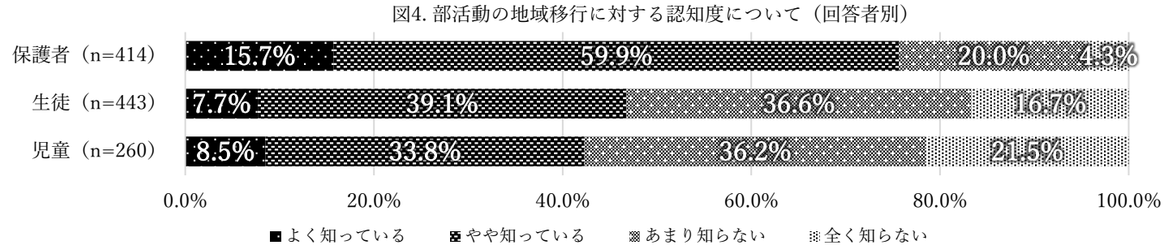
順位	児童n=217（割合）	生徒n=280（割合）	保護者n=414（割合）
1	やりたい種目が選択できる（70.0%）	やりたい種目が選択できる（55.4%）	専門的で丁寧な指導を受けられる（34.8%）
2	他校の友達ができる（67.7%）	他校の友達ができる（51.4%）	他校の友達ができる（31.4%）
3	勝敗や入賞などにこだわらず、気軽に楽しめる（64.5%）	より勝利を目指せる（48.6%）	やりたい種目が選択できる（28.7%）

※各項目に対する期待度を問う質問において「期待している」と回答した割合が高い3つを示す

地域クラブに期待する（求めている）こととして、いずれの対象においても[やりたい種目ができる][他校の友達ができる]に「期待している」と回答した者の割合が高かった。

◆　部活動の地域移行に対する認知度について（回答者別）

図4. 部活動の地域移行に対する認知度について（回答者別）



・・・学校と地域と行政が連携・協働し、地域全体で子どもたちを育てる取り組みにするためにも、部活動の地域移行に関わる情報（本市での取り組みや各クラブの現況など）を保護者含めた地域住民に周知を図っていく必要がある。